2018 年 10 月 25 日

各　　位

会　社　名　株式会社東京きらぼしフィナンシャルグループ
代 表 者 名　代表取締役社長 味岡 桂三
コード番 号　7173　東証第一部
問 合 せ 先　経営企画部長　澁谷 浩
（TEL 03－5341－4301）

株式会社きらぼし銀行と株式会社池田泉州銀行との『「前給」サービスの営業に係る業務連携に関する覚書』締結について

当社子会社の株式会社きらぼし銀行（頭取　渡邊 壽信、以下「きらぼし銀行」といいます。）と、株式会社池田泉州銀行（頭取　鵜川 淳、以下「池田泉州銀行」といいます。）は、池田泉州銀行が地盤とする大阪圏のお客さまに対する地域金融サービスの拡充を目的として、『「前給」サービス（※1）の営業に係る業務連携に関する覚書』を締結しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 本連携の経緯と目的

少子高齢化の進展等による企業の人材不足解消の一助となる「前給」サービスの契約数は増加傾向にあります。きらぼし銀行では、従来より国内各地のお客さまへ「前給」サービスをご提供してまいりました。

今般、今まで以上にスピード感を持って「前給」サービスを拡大させることを目的として、既にきらぼし銀行と業務連携協定（※2）を締結している池田泉州銀行と「前給」サービスの業務連携の契約締結に向けた覚書を締結する運びとなりました。

2019 年 1 月を目途とした池田泉州銀行による「前給」サービスの取扱開始に向け、今後両者による具体的な協議を進めてまいります。

なお、きらぼし銀行以外の金融機関において、「前給」サービスを直接お客さまに対して提供いただくのは、池田泉州銀行が初めてとなります。

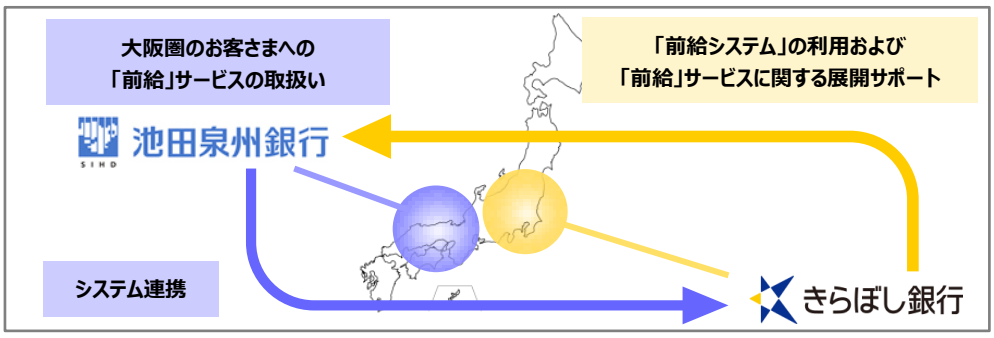
2. 本連携の効果と今後の発展

本連携により池田泉州銀行は、大阪圏のお客さまに対する「前給」サービスの営業活動や提供が可能となり、人材不足を解消するツールである「前給」サービスを提供することで、既存のお客さまとのリレーション強化および新規のお客さまとの取引開拓による新たな非金利収益が期待できます。

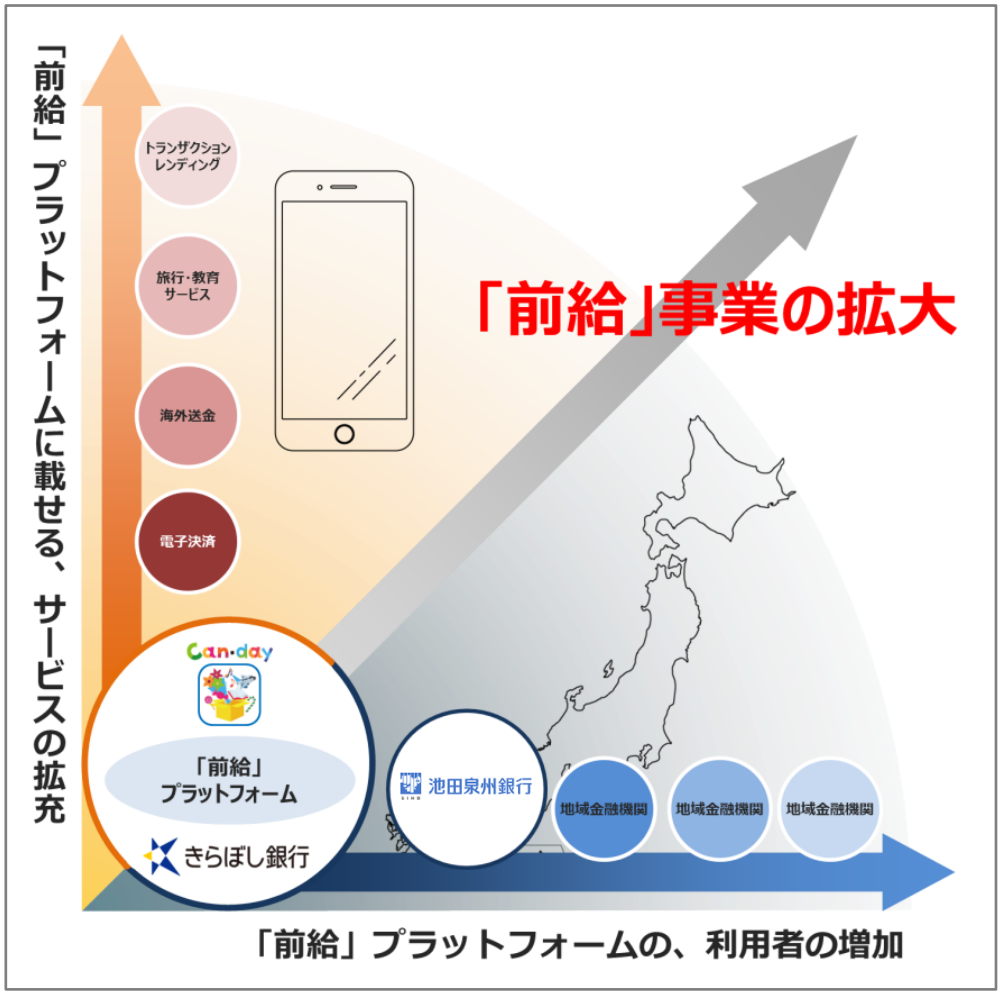
結果として、従来以上のスピード感を持った「前給」サービスの利用者数の増加を見込み、きらぼし銀行の収益向上に寄与することも併せて期待できます。

更に今後、きらぼし銀行では、「前給」プラットフォームを活用した「ＢtoＢtoＣ」のフィンテックビジネスへ挑戦し、新たなサービスの開発を進めてまいります。併せて、今後展開していく更なる地方銀行連携先への提供についても積極的に協議を進め、具体化してまいります。

【本連携のイメージ】



【地方銀行連携を踏まえた、「前給」プラットフォームによるフィンテックビジネスイメージ】



3. 本連携のスケジュール

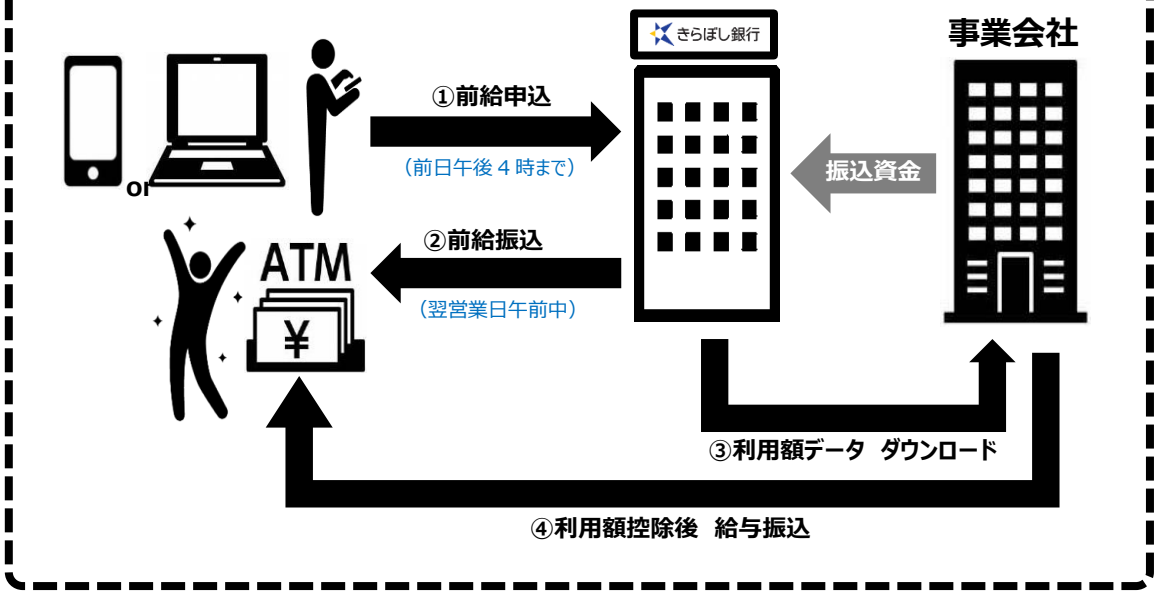
2018 年 10 月 25 日　『「前給」サービスの営業に係る業務連携に関する覚書』締結（本件）

2019 年 1 月（予定）　池田泉州銀行における「前給」サービス取扱いに関する契約締結及び取扱いの開始

以　上

【参考資料】

『前給』システム利用の流れ



『Can･day』アプリ（※3）



- 「前給」サービスのご利用
- クーポンの獲得･利用
- アプリ限定のお得な旅行案内
- ネット証券サービスの利用
- 海外送金



※1「前給」サービスについて
事業会社におけるパート・アルバイト等の従業員の皆さまの給料日前の資金ニーズに応えることができる有料のサービスです。働いた範囲内で給料日前にお金を受け取ることができる制度となります。従業員の方はきらぼし銀行に口座がなくても、勤務先の事業会社がきらぼし銀行と契約されていれば、従業員の方からの申込みにより最短で翌営業日に給与振込口座宛に資金が振り込まれます。2005 年にビジネスモデル特許を取得し、サービス提供を開始いたしました。昨今の人手不足を背景に、福利厚生サービスの充実による人材確保及び定着率向上を目指す事業会社において導入が増加しております。

※2 きらぼし銀行と池田泉州銀行とは、それぞれが地盤とする東京圏・大阪圏という二大都市圏の経済社会の発展・活性化に資することを目的として、2017 年 1 月 27 日に「大阪圏と東京圏を“つなぐ”東阪業務連携協定」を締結しております。

※3「Can・day」アプリについて
当社グループ会社のきらぼしテック株式会社が運営するアプリです。「前給」サービスの利用申込みを、従来の Web 接続に加え、スマートフォンアプリでも可能にしたほか、本アプリを通じて、当該サービスの登録者向けに、海外送金や旅行サービス等の各種サービスを提供しております。